

# 長野県社保協ニュース <18-1>

2013年2月6日(水) 長野県社会保障推進協議会

<事務局>長野市高田 276-8 県労連会館 1階 TEL 026-223-1281・FAX 026-223-1291

<http://www7.ocn.ne.jp/~nsyaho/>

E-mail: naganosyahokyou1281@star.ocn.ne.jp

## 2/2(土)長野県社保協第18回総会・講演会開催 安倍自公政権の暴走を許さず、 地域から社会保障拡充の運動を強めよう

2月2日(土)長野県社会保障推進協議会第18回総会・記念講演会が、長野市の高校教育会館別館2階大会議室で開かれました。

当日は、午前10時30分から総会、午後1時30分から公開講演会が開かれました。午前の総会には、4地区社保協(長野、松本、上伊那、飯伊)・14団体から41名が出席しました。総会では冒頭、先日死去された代表委員の坂本隆久さん(県推協)を偲び、黙祷をしたあと、事務局長から活動方針、会計の提案・報告がありました。また、各地域・団体から16名の発言があり、それぞれ1年間の活動の振り返り、本年度の活動への思いが語られました。

総選挙後の新しい情勢の変化に対応し、7月参議院選挙を視野に入れ、安倍自公政権の憲法改悪・国民収奪・社会保障総改悪の暴走を許さず、各地域・団体から社会保障拡充の運動を強めていく決意を固めました。

議案はすべて拍手で承認され、新年度の方針と新役員体制(下記参照)を確立しました。昼休憩の後、第2部としてNHK報道局の板垣さんを招いての公開記念講演が開かれました。(別記)



### <総会で選出された2013年度役員名簿> 一年間よろしくお願いします。

代表委員：熊谷嘉隆(民医連)、鈴木信光(保険医協会)、小林吟子(医労連)、高村裕(県労連)、松澤秀紀(年金者組合)、県推協から後日選出予定。

事務局長：湯浅健夫(民医連)

事務局次長：川畑和章(医労連)、宮澤淳司(保険医協会)、竹田憲子(県推協)、黒沢信枝(民医連)

運営委員：松樹純子(高教組)、松本隆(県教組)、有坂登(県推協)、竹内哲雄(長商連)、菅田敏夫(県労連)、大久保益栄(県生連)、高橋夏美(新婦人)、太田千枝子(年金者組合)、

平澤章(飯伊地区)、小野高聰(長野地区)、山崎健志(上伊那地区)、倉科幸平(松本地区)

会計監査：上條文子(建交労)、越満(年金者組合)

## 国保の減免申請の基本を学ぶ学習会

2013年2月14日(木) 13:30~16:00(予定)

松本勤労者福祉センター2階大2会議室

講師：高坂進氏(日本共産党市川市議、元市川民商事務局長)

国保料(税)の引き下げ、窓口負担の軽減めざし、申請減免運動を前進させよう!

## 第18回総会記念・公開講演会

# 「無縁社会の取材現場から」

講師：板垣 淑子氏

NHK報道局「おはよう日本」チーフ・プロデューサー  
「あすの日本プロジェクト」無縁社会取材班

日本でも長野県でも、地域の“結びつき”が急速に弱まり、単身の高齢者世帯、高齢者のみの世帯が急増しています。こうした地域での状況を踏まえ、今後の社保協運動のあり方を考えようとNHKプロデューサーとして『無縁社会』という言葉を送り出した1人である板垣淑子さんを招き公開講演会を企画しました。

講演会は、信濃毎日新聞の告知記事を見て参加された人を始め、県社保協加盟の団体・地域などから110名を超える参加者でした。

講演の中で板垣さんは、一生懸命働いても貧困から抜け出せない“ワーキングプア”の人々への取材を通し、「無縁社会」にたどり着きました。かつて日本には地縁・血縁・社縁といった様々な絆が多くの人にありました。しかし非正規雇用の増加、核家族化、不安定雇用による未婚化などにより人とのつながりがとてもか細くなっている。社会保障が脆弱でたった一回失敗しただけで路上生活に陥ってしまう社会。たとえ家族であれ、誰かに頼ること、助けを求めることが悪いことで、失敗したのは自分の責任だと思わされる「自己責任論」の蔓延。お金を払って話し相手を求める人も増えていることに衝撃を受けました。老後の受け皿である施設は高額な上に不足し身元保証人が必要な所がほとんど。お金がなく、家族関係が希薄な人は退職などで社会とのつながりを失った瞬間に無縁死の危険にさらされる。などについて事例を交えて触れました。



また、1月20日放映された「老人漂流社会」にもふれ、住み慣れた自宅を何らの理由で離れざるを得なくなった身寄りのない高齢者が“死に場所”を求めて病院や施設を短期間で漂流する高齢者があふれ出す異常事態が起き始めていることを紹介しました。

板垣さんは今後も取材を通じて、現在の社会保障制度が高齢者の一人暮らしが当たり前になりつつある現状にそぐわないことに疑問を感じ、番組制作を通じて訴えていきたいそうです。

「思い切って参加させていただきました。とっても良い講演でした」

「地域では“縁”が希薄になり、深刻化する問題を聞いて衝撃を受けました」「さまざまな問題を教えてもらいました。問題はたくさんあるが、私のまわりで何かできることも考えます」などの感想・意見がありました。

## 憲法改悪・社会保障解体を阻止する学習決起集会

2013年3月2日（土）13：30開会

長野市勤労者女性会館しなのき ホール 集会終了後市内パレード

講演：二宮厚美さん（神戸大学名誉教授）

「21世紀の新たな転換期に高齢者はどう生きるか」

主催：長野県高齢期運動連絡会 共催：長野県社会保障推進協議会